



絆

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 No 15

令和7年6月25日

文責：校長（菊池）

認知症になっても自分らしく生きられる社会へ

6月23日（月）に2学年を対象に「中学生が認知症について理解を深めることにより、認知症の方は＜何もできない＞＜何もわからなくなる＞といった認知症に対する誤解や偏見をなくすとともに、孫世代の視点から自分の祖父母や近所の高齢者への思いやりやいたわりの心を育む」ことをねらいとして「孫世代のための認証講座」が開催されました。講師に、岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野講師の石塚直樹先生をお迎えし、中学生向けに分かりやすく説明していただきました。



「認知症」とは、様々な病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に変化し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に支障をきたした状態をいいます。



日本では、令和4年度の調査の推計では、65歳以上の認知症の人の割合は約12%となっています。年齢にかかわらず誰もがなり得る認知症について、一人ひとりが「自分ごと」として理解する必要があります。認知症になってからも、本人の意思が尊重され、住み慣れた環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症や認知症本人についての理解を深めることが大切です。

＜生徒アンケート（無記名）より＞

○あなたの家族や地域のお年寄りへできそうなことはありますか？

- ・お年寄りに怒るのではなく、お年寄りが楽しめることを家族で取り組むというのがいいと思いました。（男子）
- ・周囲の対応によって進行に変化があることから、常に優しく接していきたいと思いました。（女子）
- ・ホットタウンに住んでいて、お年寄りの方も多くいるので、散歩している人などにあいさつをするなど絆を深めて、困っている人がいたときは自分から助けにいけるようにしていきたいです。（女子）
- ・驚かせないように、ゆっくり丁寧にやさしく接することが大切だと思った。（女子）

○今日の認知症講座を聞いて、心に残ったことを自由に書いてください。

- ・だれがなってもおかしくないし、なった人にやさしく接することができるといいなと思いました。そして、いろんな症状があつてびっくりしました。（女子）
- ・自分の親もこんな風になるときがあるかもしれないと思いました。（女子）
- ・お年寄りではなくても50代くらいでも発症してしまうことです。（男子）
- ・認知症は一度かかったら治せないものだと思っていたけど、やさしく対応することで症状が軽くなったりすることがあることが分かりました。（女子）

1 回でも薬物乱用です!!

6月12日(木)に、2学年を対象として、講師に学校薬剤師の 高橋涼太 先生をお迎えして薬物乱用防止教室が開催されました。

高橋先生からは、違法薬物の種類、使用状況、岩手県での取り締まり件数、薬物の危険性と常習性などについて説明がありました。最後に、「友達から誘われたら、どう断る？」の例として、尚子先生と栃内先生の寸劇も披露されました。

薬物の使用は人生を台無しにします。困ったり、苦しかったりする現実から逃れるためとして薬物は選択しないでください。

【生徒の感想】

- ・薬物は一回やると中毒になってしまうことや体に害しかねないことが分かったし、タバコだけでも肺だけではなく体の全身に害が及ぶことも分かりました。タバコとお酒は20歳からという規則も守りたいし、人に誘われてもしっかり断れるようにしていきたいです。(久保田泰心さん)
- ・今日聞いたほとんどが小学校の復習ではあったけど、おぼろげな部分もあったので、改めて知ることができました。誘われたときの断り方についても様々な意見があって面白かったです。個人的には菜穂さんが印象に残りました。今日のお話で、薬物は心身に多大な悪影響を及ぼすこと、1回だけの使用でも乱用になることが分かりました。今後の生活で忘れないようにしていきたいです。(高橋瑤葵さん)
- ・6年生の時とはまた違って、薬物を始めてしまうとどうなるかや、体だけでなく、自分の将来にも悪い影響を与えてしまうかをよく知ることができました。誘われたら、きっぱり断ることも乱用しないために、勇気を出して行動していきたいです。(高橋菜緒さん)
- ・薬物で性格が変わるのがこわいなと思ったし、たばこは1年でたくさんお金がかかるし、ガンなど体の一部だけではなく、全身に悪影響があることを知りました。しつこく誘われても、自分でちゃんと断ることが大切だなと思いました。(照井柚羽さん)



第1回読み聞かせを実施しました(6月10日(火))



1年A組では、佐々木優樹さんが、久保田おさち(本校校歌作詞者)さんの著書『風女』を取り上げてお話しくださいました。



2年A組では、高野橋加子さんが『舟を編む』を取り上げ、辞書作りについてお話しくださいました。



3年A組では、沖村正行さんが『不可能を可能にする大谷翔平120の思考』を取り上げ、いくつかの語録を説明くださいました。

【表彰】

○第34回 NPO 法人東北音楽コンクール

リトルピアノ A コースファーストステージ通過・セミファイナル進出

1年A組 渡邊 晴緋